

人権の発展①（世界人権宣言まで）

原始時代はもちろんのこと、有史以降も人類は、長きにわたり人権とは無関係のまま過ごしてきました。今回人権の成り立ちについて、歴史を振り返ってみましょう。

世界史などを学ぶ際に、人権という言葉や概念が最初に登場するのが、13世紀イギリスの「マグナ・カルタ」であるといわれています。これは、国王に対して貴族などが権利や自由を認めさせたものであり、人口の大半を占める農民などのためのものではありませんでした。

人権の歴史について考える場合には、17世紀イギリスの哲学者ジョン・ロックの思想が重要な意味をもちます。ロックは、「人間は生まれながらにして自由であり平等である」としています。さらに、個人の生命・自由・財産を守つてもらうために国家があるのであり、庄政により国民の権利などが守られない場合は、政府を取りかえることができると説きました。そして、この思想は、18世紀に起きたアメリカの独立革命やフランス革命などに大きな影響を与えました。このように、人権について

の基本的な考え方は、既に17世紀に示されていました。しかし、当時の社会では、理想と現実のギャップが大きすぎました。アメリカ独立革命では、黒人や先住民への差別は当たり前のようには存在しました。フランス革命でも人権宣言は出されました。恐怖政治と呼ばれる弾圧が行なわれていました。また、いずれの場合も、当初の人権の対象には女性は含まれておらず、人権は男性のためのものでした。(フランスで普通選挙権が認められたのは、男子が1848年、女子が1944年)

フランス革命以降は、それ以後よりも自由な社会が実現したことは事実ですが、新たな社会問題も生み出しました。自由が保障されることにより、経済活動が盛んになりました。第二次世界大戦の反省により、資本主義社会が発展しました。それに伴い、世の中の貧富の差が広がってしまいました。また、低賃金で長時間働くことにより、平均寿命が低下するという問題が顕在化しました。このような状況を改善するために労働運動が活発になりました。

第一次世界大戦を経て、1919年ドイツで制定された

ひときわに雲一つなき冬空に見つけて楽し飛ぶユリカモメ
オリーブを咥えし鳩よ丁シャツの大統領の肩に飛び来よ
中田町 湯浅 百世

新聞の小さき記事の目に留まる友の笑顔はあの頃のまゝ
あしあと よ おおみこ さざなみ しお か み はつかぜ ふ
足元に寄す大神子の細波は汐の香に満ち初風ぞ吹く
中田町 多田 健児
間新田町 瀧川 益美

新聞の小さき記事の目に留まる友の笑顔はあの頃のまゝ
あしあと よ おおみこ さざなみ しお か み はつかせ ふ
足元に寄す大神子の細波は汐の香に満ち初風ぞ吹く
中田町 多田 健児
間新田町 瀧川 益美

ヒューマン・ライツ・オブ・ザ・ワールド
田浦町 西 教明

市教育委員会生涯学習課
人権教育推進室(新教育庁舎2階)
☎ 32-3814
FAX 33-1230
Mail:jinkenkyouiku@city.komatsushima.l-tokushima.jp

ヒューマン・ライツ・オブ・ザ・ワールド
田浦町 西 教明

アジビラを広げ朝まで議論せし下宿屋は今ブーランジェリー
赤石町 田原トシ子
横須町 山崎 泰子

晴天に娘ら三人と連れ立ちて四国参りに声はずみおり
金磯町 川下 年男

お月さまオヤスマニサイと手を合わす三きょうだいの動画が届く
立江町 湯浅かや子

瑠璃色の空の深さよ背のびして掬つてみたき白き点点